

08年 チェスナットリーグ 規約改正 ポイント

◇ 規約改正の流れ

チェスナットリーグ発足20年を過ぎ、重大事故はなかったものの、競技レベルの向上、チーム間の実力格差、部員数の格差、新加盟チームとの経験の格差などから、重篤事故が起こらないとは限りません。

昨年、全国で重篤事故4件が報告され、今春またしても高校生の重篤事故が起こりチェスナットリーグとしては21年目を迎えるに当たり更なる安全確保のルールが急務となりました。

試合中であっても重篤事故が起こると、一番選手や選手の家族が不幸であり、代表者の責任は下よりチームの責任も問われていきます。チェスナットリーグと致しましても、事故の回避を防ぐ為にも、安全指導の徹底、ルール上での安全規制は重点項目として考えて行きたいと思っておりますので、改正においてはご理解の程宜しくお願い致します。

① 競技規則改正

※ 小学生のタイムアウト回数 → 3回で決定

20年を迎え試合時間短縮も含め、タイムアウトについては、中学生以上と同等のルール改正とした。今までは4回で、安全の為のタイムアウトも含まれていましたが、それぞれのチームがレベルアップし、審判の皆さんお声もあり3回で良いと判断致しました。

ミゼットについては、従来通りフィールド内コーチングは可とする。

また準加盟チームも同様の扱いとする。

※ ジュニアの学年区分 → 基本は4年生～6年生としたい。 (検討事項)

但し、ミゼットは人数不足の可能性もあるので、1年生～4年生までは従来通り。

3年生の出場に、安全確保ができない場合も考えられる。

また、将来は5～6年生としていきたい。

※ 中学バンタムのブリッツの制限 (2006年より小学生は実施)

安全優先の為、第2列の2ポイントスタンスで、スナップとほぼ同時にスクリメージラインを割って侵入する行為は禁止。また、スクリメージ付近で6人以上が、ほぼ同時に侵入する行為も禁止。→反則の場合は5

ヤードのペナルティー（制限違反）

キッキングの制限は今後検討。

また中学連盟と安全に対する規約調整を実施する。（東西ともに）

※ 中学バンタムの体重制限（検討事項）

1～2年生のゲーム・・・70kg以上の選手の出場不可

2～3年生のゲーム・・・90kg以上の選手の出場不可

また40kg以下の選手も出場不可

但し、対戦の両チーム代表者が了解であれば、出場を可とする。

安全上を考えると、ミスマッチも十分考えられるので制限を設ける。だからと言って重篤事故が起らないわけでもないので、基本技術の習得と、試合でのコーチングが重要となる。

※ スピアリングやバッドブロッキングは、（危険なブロックの再徹底）

反則をした方は悪いが、やられた方が許さないではスポーツではない。

ひどい状況の場合は選手の退場もあり。

※ ボールキャリアもディフェンダーに頭から突っ込んだり、ぶつかっていく行為は反則。（但し、インサイドのスクリメージ付近を除くが特に故意でひどい場合は退場）

② 審判委員会

※ 審判員の権限・・・プレーの判定における審判員の判断は絶対的なもので抗議は許されない。

判定において、暴言等がベンチからあった場合は1回目は警告、2回目は退場とする。プレーヤーの手前上謹んで頂くルールとしたい。

やむ得ず判定が間違っていた場合は試合結果は変わらないが、管理手続きを行いDVDや試合資料の提出により裁定を行う。

※ 審判員の研修

協会主催の審判クリニックに積極的に参加していただくような公式手続きを行い、

更なる審判技術の向上を目指す。

※ 選手ルールクリニック

秋季リーグ開幕の各第1試合には、全てのチームに、タッチの範囲、ス

ピアリングや、バットブロッキングのクリニックを選手全体に行って試合を始める。

③ リーグ規約

※ 対外試合や練習交流戦の届け

関西中学選手権を除く対外試合はリーグに届けるものとする。

現在リーグ全体に、死亡事故と重度後遺障害の保険は加入しているものの、未届けや、他団体主催のゲームにはチェスナットリーグの承認がなければ出場できない。また、主催団体や参加チームは責任を持って安全管理をしなければならない。

※ 規約については、今年度は柔軟に対応して行きたいと考えるが、追加希望や訂正希望があれば文章でリーグ本部に提出のこと。

※ 新規加盟チームの申請を届けて頂いた1年目は準加盟扱いとする。規定に準じた活動ができた場合は正式加盟とする。

④ 安全対策

※ ドクター AED使用協力者

昨年に引き続きドクター協力者(有償)やAED使用協力者を求めます。宜しくご協力の程お願い致します。

※ 傷害保険加入の徹底

各チームでそれぞれ傷害保険に加入されていると思いますが、未加入の選手やチアーはリーグに参加できませんので予めご了承下さい。

2008年6月

チェスナットリーグ本部